



■ 第58回通常総会を開催

2月2日、島根県土地改良会館で、県土連(会長 長岡秀人出雲市長)の平成27年度土地改良功労者表彰式および第58回通常総会が開催されました。

冒頭、長岡会長は「国では、『総合的なTPP関連政策大綱』が決定され、攻めの農林水産業に向けて農業の体質強化に資する土地改良事業が重点的に実施されることになったが、本県においてはその面積の8割以上を占め、過疎化・高齢化・担い手不足の進行する中山間地域の活性化のための対策も強力に推進していく必要がある。平成28年度当初予算は前年に比べ更に増額されたところではあるが、平成22年度に土地改良予算が大幅に削減されて以来、地域の要望に十分応える水準にはまだ至っていない。我々土地改良関係者は、『闘う土地改良』を旗印に、予算の復活に向けて、真剣に取り組み、農業者の抱える不安を解消し、そして先人達が永きにわたり築いてきた農業農村を守り、維持していくことが使命であると考えている。県土連としても、島根の農業・農村の発展のために積極的な貢献を果たしていく覚悟であるので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いしたい。」と挨拶しました。



表彰式では、土地改良事業の推進・発展に特に功績のあった土地改良区役職員など19名の受賞者に、長岡会長から表彰状と記念品が贈呈されました。また、当日は、仲家修一中国四国農政局長、小林淳一島根県副知事、糸原島根県議会議長など多数の来賓を迎え祝辞が述べられました。

引続き行われた通常総会は、議長に山内海士町長、議事録署名人に近藤宏樹安来市長と速水雄一雲南市長を選出した後議事に移り、平成28年度一般会計予算案等の提出議案が原案どおり可決承認され、役員任期満了に伴う選任においては現役員全員が再任されました。最後に、「農業農村整備事業関係予算の必要額を当初予算で確保すること」など7項目の要望を訴えた決議が全会一致で採択され閉会しました。

■ 第58回通常総会を開催	1
■ 平成27年度土地改良功労者表彰受賞者	2
■ 臨時役員会を開催	2
■ 農政新時代キャラバン	3
■ 平成27年度「災害復旧技術向上のための講習」	3
■ 土地改良区体制強化基本計画に関する説明会	3
■ 平成27年度多面的機能支払中国四国シンポジウムin愛の国えひめ	4
■ 今月の主な予定	4

■ 平成27年度土地改良功労者表彰受賞者の皆様

～ おめでとうございます ～

《役員の一部 13名》

松江市土地改良区 (理事)	三島 追 様
出雲市土地改良区 (理事)	渡部 喜代男 様
出雲市土地改良区 (監事)	北村 信夫 様
出雲市土地改良区 (総代長)	佐藤 泰藏 様
出雲市伊野土地改良区 (監事)	原田 聡 様
大田市三瓶土地改良区 (前理事)	依 保 夫 様
大田市温泉津土地改良区 (理事)	重田 和緒 様
大田市温泉津土地改良区 (理事)	原 和孝 様
益田市土地改良区 (理事)	村上 量彦 様
鹿足郡吉賀町土地改良区 (理事長)	茅原 忠夫 様
鹿足郡吉賀町土地改良区 (理事)	見川 哲幸 様
二本松土地改良区 (副理事長)	大西 修一 様
都万下田土地改良区 (会計理事)	奥 正稔 様

《職員の一部 3名》

出雲市	坂根 真治 様
浜田市	岸本 隆 様
浜田市	今田 修二 様

《県土連職員永年勤続表彰 3名》

島根県土地改良事業団体連合会	福島 真樹
島根県土地改良事業団体連合会	梶谷 美輝
島根県土地改良事業団体連合会	伊藤 彰人

■ 臨時理事会、臨時監事会を開催

2月2日、第58回県土連通常総会において役員が改選されたことに伴い、同日開催された臨時理事会において次期会長、副会長、専務理事、常務理事が、また臨時監事会において代表監事が次のとおり選任されました。

会 長	長岡秀人 (出雲市長)
副 会 長	山碕英樹 (飯南町長)
専務理事	長崎泰樹 (現島根県土地改良事業団体連合会専務理事)
常務理事	渡部明孝 (現島根県土地改良事業団体連合会常務理事)
代表監事	勝部勝明 (出雲市斐川土地改良区理事長)

(任期：平成28年4月1日から平成31年3月31日迄)

■ 農政新時代キャラバン（島根県説明会） =中国四国農政局=

2月8日、出雲市「朱鷺会館」において、県内公共団体及び農業関係団体、農業関係者が多数参加して、中国四国農政局主催の「農政新時代キャラバン 島根県説明会」が開催されました。農林水産省からTPP大筋合意の概要や「総合的なTPP関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野の対策及び農林水産物の生産額への影響試算が「総論」として説明された後、「水田・畑作分科会」と「園芸分科会」に分かれて説明されました。参加者からは影響試算への疑問や攻めの農業への対策の一方、中山間地域への対策縮減を危惧する意見等多数の意見要望が出されました。



■ 平成27年度「災害復旧技術向上のための講習」 =島根県農村災害支援協議会=

2月16日、島根県土地改良会館にて平成27年度「災害復旧技術向上のための講習」が開催されました。この講習会は島根県農村災害支援協議会と全国水土里ネットの主催により毎年開催されており今年度は45名の参加がありました。

当日は、冒頭、長崎島根県農村災害支援協議会長（県土連専務理事）から、「平成19年に当協議会が発足してから現在87名の会員が登録されている。本県では平成25年以降大きな災害はないが、近年、査定設計書作成等の事務の簡素化が図られているので、今日の講習を今後の災害時に役立てていただきたい。」との挨拶がありました。

講習会では本会の白築事務局次長から農村災害復旧専門技術者制度についての説明があり、続いて島根県農林水産部農地整備課大山泰平主任技師から「農地・農業用施設等災害復旧事業の概要」、中国四国農政局農村振興部防災課安部博災害査定官からは「平成27年災害とその対応について 農地・農業用施設等の災害復旧事業計画概要書（査定設計書）の作成に当たって」と題して、災害復旧現場の実例を使った実践的な説明がありました。

島根県農村災害支援協議会としても災害復旧技術者の育成と技術力の向上にさらに取り組んでいきたいと考えていますのでより多くの皆様の参加をお願いします。

■ 土地改良区体制強化基本計画に関する説明会 =島根県=

2月18日及び19日、島根県農村整備課主催により本会及び浜田合同庁舎の2会場において土地改良区体制強化基本計画に関する説明会が開催され、県内の21土地改良区が出席しました。

土地改良区は、農業水利施設の管理や農業生産基盤の整備を通じた農地利用集積を推進する中心的役割を担う団体であり、その機能と役割が十分発揮されることが期待されています。このため、計画的な視点に立った土地改良区の組織運営基盤・事業実施体制の強化を図る必要を図るため、平成28年度から新たに「土地改良区体制強化事業」が実施されることになりました。

この事業は、①施設財務管理強化②受益農地管理強化③統合整備強化④研修・人材育成の4つのメニューにより、土地改良区の強化を集中的に支援するものです。

土地改良区自らが主体的に将来の在り方を検討するなどの自助努力を行うため、土地改良区体制強化基本計画書の作成を行い、この計画書に基づき、本会が水利施設の診断指導、換地選定手法指導、研修会及び土地改良相談等の支援を行うこととなります。

■ 平成27年度多面的機能支払中国四国シンポジウムin愛の国えひめ

＝島根県農地・水・環境保全協議会＝

平成28年2月4日に、愛媛県松山市において「平成27年度多面的機能支払 中国四国シンポジウムin愛の国えひめ」が開催され、中国四国管内の活動組織及び関係者約700名の参加がありました。

当日は、愛媛大学農学部の武山絵美准教授から『農地の多面的機能とは何か、そしてどう活かすか』と題して、農地が持つ多面的機能を発揮するためには「農業を継続する」ことが必要であり、そのためには今後集落間の協力体制が必要不可欠になってくるとの基調講演が行われました。



続いて熊本市の「天明環境保全隊」の永井幸人事務局長から『広域化が地域農業を強くする』と題した講演があり、広域化により土地改良区に事務業務を委託し事務の負担を軽減できたこと、活動面では集落をまたぐ施設の管理等について集落間の連携や役割分担で活動の幅が広がった等の取組成果が発表されました。

最後に、本年度の中国四国農政局長表彰最優秀賞を受賞された山口県と高知県の活動組織から、シバザクラの植栽を契機に地域の連帯感が強まり他の団体との連携が活発になった事例や、集落営農を推進するために非農家も含む地域全体での草刈りを実施された事例など特色のある活動事例が発表されました。

■ 今月の主な予定

開催日	内 容	開催地
3月 3日 (木)	島根県土地改良換地士部会	県土連
3月10日 (木)	中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議	岡山県
3月15日 (火)	島根県農村地域再生可能エネルギー推進協議会	県土連
3月24日 (木)	能義第二地区農地整備事業 竣工式	安来市
3月25日 (金)	全土連総会、全国水土里ネット表彰式	東京
3月25日 (金)	全国水土里情報利活用促進会議総会	東京



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
 ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp